

製品名: PRKAB2 マウスモノクローナル抗体**カタログ番号: AMM81914**

研究使用のみ

概要

説明	マウスモノクローナル抗体
宿主	ねずみ
応用	IHC,ICC,ELISA,FC
反応性	人間
標識	非共役
修飾	未修正
アイソタイプ	Mouse IgG1
クローン性	モノクローナル
形態	液体
濃度	1mg/ml
保存	アリコートし、-20°Cで保存してください（12 ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。
輸送	氷袋
バッファー	0.05%アジ化ナトリウムを含む PBS 中の精製抗体
精製	アフィニティー精製

応用

希釈倍率	IHC 1:200-1:1000,ICC 1:200-1:1000,ELISA 1:5000-1:20000,FC 1:200-1:400
分子量	30.3kDa

抗原情報

遺伝子名	PRKAB2
別名	PRKAB2
遺伝子 ID	5565.0
SwissProt ID	O43741
免疫原	大腸菌で発現したヒト PRKAB2 (AA: 1-120) の精製された組み換え断片。

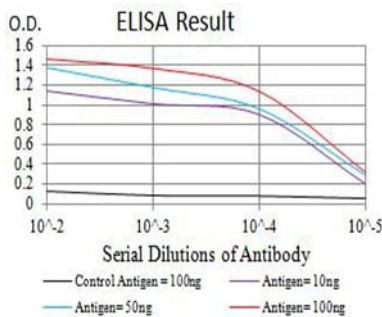
背景

この遺伝子によってコードされるタンパク質は、AMP 活性化プロテインキナーゼ (AMPK) の調節サブユニットです。AMPK は、 α 触媒サブユニットと非触媒 β サブユニットおよび γ サブユニットからなるヘテロ三量体です。AMPK は、細胞のエネルギー状態を監

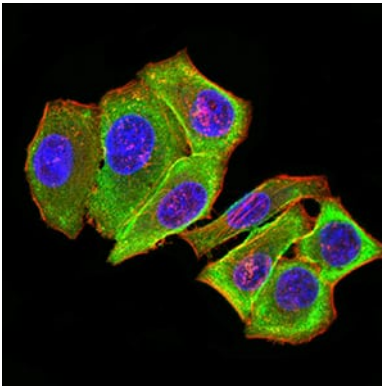
視する重要なエネルギー感知酵素です。細胞の代謝ストレスに反応して AMPK は活性化され、脂肪酸とコレステロールの de novo 合成の調節に關与する重要な酵素であるアセチル CoA カルボキシラーゼ (ACC) と β -ヒドロキシ β -メチルグルタリル CoA 還元酵素 (HMGCR) をリン酸化・不活性化します。このサブユニットは AMPK 活性の正の調節因子である可能性があります。骨格筋で高発現していることから、組織特異的な役割を果たしている可能性があります。この遺伝子には、複数の選択的スプライシングを受けた転写バリエーションが見つっています。

研究分野

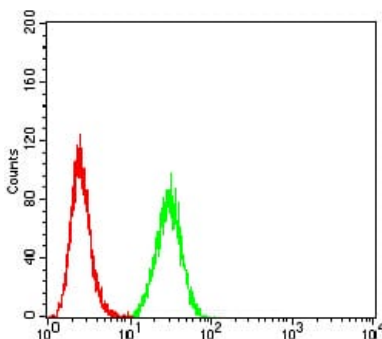
画像データ



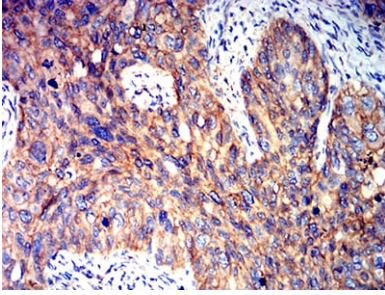
黒線: コントロール抗原 (100 ng) ; 紫線: 抗原 (10 ng) ; 青線: 抗原 (50 ng) ; 赤線: 抗原 (100 ng)



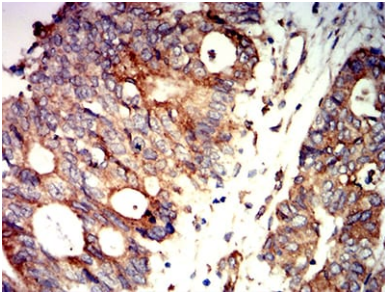
PRKAB2 マウス mAb (緑) を用いた HeLa 細胞の免疫蛍光染色。青: DRAQ5 蛍光 DNA 色素。赤: Alexa Fluor-555 ファロイジンで標識されたアクチンフィラメント。



PRKAB2 マウス mAb (緑) とネガティブ コントロール (赤) を使用した HeLa 細胞のフローサイトメトリー分析。



PRKAB2 マウス mAb と DAB 染色を使用したパラフィン包埋ヒト子宮頸癌組織の免疫組織化学分析。



PRKAB2 マウス mAb と DAB 染色を使用したパラフィン包埋ヒト直腸癌組織の免疫組織化学分析。